

中国：分散型太陽光発電の導入推進政策を発表¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット
新エネルギーグループ

本年9月、国家能源局は分散型太陽光発電導入推進に向けた新たな政策²を発表した。現在、分散型太陽光発電は全発電量に対して政府からの補助金0.42元/kWh³と、余剰電力を現地石炭発電基準価格で送電会社に売電できる優遇策が与えられている。対象となる分散型太陽光発電の容量は6MW以下、連系電圧は10キロボルト以下であるが、新たな政策ではそれぞれ20MW以下、35キロボルト以下と変更し、優遇策が適用される対象が広げられた。

分散型太陽光発電は基本的に自己消費向けであることから送電線の負荷が少なく、また、ユーティリティー規模の太陽光発電と比較して、都市と農村部の幅広い分野で設置が可能である。このため、分散型太陽光発電は重要な電源と位置付けられ、2012年以来、補助金、ファイナンス、グリッド連系、税制などに関する分散型太陽光発電導入推進政策が多く打ち出され、また、多くのパイロット・プロジェクトが実施されてきた⁴。

しかしながら、2013年末の太陽光発電累積導入容量(19.4GW)のうち、分散型太陽光は3.1GWに留まっている。一方、ユーティリティー規模の太陽光発電⁵累積導入容量は16.3GWであり、分散型太陽光よりはるかに多く設置されている⁶。

本年2月、国家能源局は2014年の太陽光発電導入目標を14GWとし、そのうち分散型太陽光を8GW、ユーティリティー規模の太陽光を6GWと設定した⁷。昨年の分散型太陽光導

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業(海外省エネ等動向調査)」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

² 国家能源局「分散型太陽光発電推進政策」参照

http://zfxgk.nea.gov.cn/auto87/201409/t20140904_1837.htm

³ 中央政府に加えて地方政府も全発電量に対して補助金(浙江省は0.1元/kWh)を出している。

⁴ “The Notice of the Organization of Application for Golden Sun and BIPV Demonstration Projects”(2012年11月、財政部/科学技術部/住宅・都市農村建設部/能源局)、“Opinion of Good Implementation of Grid Interconnection Service for Distributed Generation”(2013年3月、State Grid Corporation of China)、「太陽光発電産業の健全な発展についての意見」(2013年7月、国務院)

http://www.gov.cn/zwgk/2013-07/15/content_2447814.htm、”The Notice on Carrying out the Establishment of Demonstration Area of Distributed Solar PV Power Generation”(2013年8月、能源局)

http://www.nea.gov.cn/2014-09/04/c_133620588.htm、“The Notice on Supporting the Financial Services to the Distributed Solar PV Power Generation”(2013年8月、能源局/国家開発銀行)、“The Notice on Improving the Development of Solar PV Industry by Utilizing the Price Leverage Effect”(2013年8月、国家発展改革委員会)

http://www.sdpc.gov.cn/zwfwzx/zfdj/jggg/dian/201308/t20130830_556127.html

⁵ 発電事業としての発電で、発電所で発電された電力は全量グリッドに連系され、電力需要者へ供給される。

⁶ 国家能源局「2013年太陽光発電統計」参照 http://www.nea.gov.cn/2014-04/28/c_133296165.htm

⁷ 国家能源局「2014年太陽光発電導入目標」参照

http://zfxgk.nea.gov.cn/auto87/201402/t20140212_1763.htm

入実績 (800MW) と比較すると 10 倍となる意欲的な目標設定であった。目標値の大きい省は浙江省 (1GW)、江蘇省 (1GW)、山東省 (1GW)、広東省 (900MW)、河北省 (600MW)、河南省 (550MW) である。しかしながら、本年上半期の太陽光発電導入容量は 3,320MW で、そのうち分散型太陽光は 990MW に留まっている⁸。

分散型太陽光発電の導入を阻害する大きな要因として、補助金優遇策が不十分なこと、資金確保が困難なことなどが挙げられる。分散型太陽光は、政府庁舎、病院、学校、工場、大規模商業施設の屋根に多く設置されているが、現行の補助金は太陽光発電事業者の参入を促す十分なインセンティブになっていない⁹。

新たな政策で優遇策が適用される分散型太陽光発電の規模が 20MW まで拡大されたのは、農業不適地、放棄地、海岸、池などに地上設置型のメガソーラーを設置し、スケールメリットによって収益性の向上を図る太陽光発電事業者の試みを可能とするものである。

今般の新政策にはファイナンス、グリッド連系、税制、ビジネスモデル、規格・品質管理などに関する新たな強化策も含まれている。しかしながら、補助金についての見直しが部分的なものに留まっているように、いずれも抜本的な強化策にはなっていない。今後、分散型太陽光発電を飛躍的に増加させるためには、導入推進政策の継続的な強化が必要である。

お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp

2014 年 8 月に導入目標を 13GW へ下方修正 (pv-magazine)

http://www.pv-magazine.com/news/details/beitrag/china-pv-target-cut-to-13-gw-for-2014_100015977/#axzz3FhDtquOR 参照

⁸ 国家能源局「2014 年上半期太陽光発電導入概況」参照

http://www.nea.gov.cn/2014-08/07/c_133539235.htm

各省の導入実績 ; 浙江省 (170MW)、江蘇省 (270MW)、山東省 (60MW) 広東省 (140MW)、河北省 (50MW)、河南省 (100MW)

⁹ 今般の新たな政策では実現しなかったが、政府補助金を 0.42 元/kWh から倍近く上げることも検討された。“China to boost distributed pv, 5GW expected” (20 August 2014, pv-magazine) 参照

http://www.pv-magazine.com/news/details/beitrag/china-to-boost-distributed-pv-5-gw-expected_100016163/#axzz3FZQ3E1Y9